

# 若手職員の声～入省1年目～

## 職員紹介



### 地域整備課

あべ とう や

阿部 栄也

福島県須賀川市出身

福島大卒

#### 業務内容

本省から各県への集落排水施設などの調査依頼とりまとめ、会議の会場準備や現地施設調査等

#### 学生へメッセージ

農村の生活インフラを整備するやり甲斐のある仕事です！



### 防災課

くろたき こう

黒滝 晃

青森県つがる市出身

五所川原農高卒

#### 業務内容

予算関係業務、防災情報に関する本省からの調査依頼、災害情報や防災情報の収集、ネットワークシステムの整備、保守運用等

#### 学生へメッセージ

慣れなく難しい仕事が多いですが、先輩や上司が親身になって指導してくださり、心置きなく仕事に取り組むことができています！

05



### 水利整備課

さとう りょうすけ

佐藤 倭祐

秋田県横手市出身

秋田県立大卒

#### 業務内容

各県等で実施される水利施設整備事業に関する各県への各種調査依頼、打合せ資料の作成等

#### 学生へメッセージ

ダムや水路といった水利施設の維持管理の補助等をしながら、様々な人達と関わることができています！

#### 業務内容

広報誌の共有、HP更新作業、SNSの運用、予算関係資料作成、会議の設営・運営の補助等

#### 学生へメッセージ

幅広い業務に携わり、多くの人と関わることが刺激になっています！指導も手厚く、充実した毎日を過ごしています！



### 設計課

ねじょう まさこ

根城 雅子

青森県八戸市出身

弘前大卒

## 入省1年目職員アンケート

令和6年度入省の新人職員に東北農政局での1年間について聞いてみました！

Q1

東北農政局（一般職）志望の決め手は？

- 自身の育った東北地方で、大学で学んだ知識を活かしてスケールの大きな仕事ができるから
- インターンシップで職場の雰囲気が良かったから
- 当時の採用担当の方が親身に相談に乗って下さり、サポートが手厚かったから

Q2

職場の雰囲気は？

- 上司・先輩に相談しやすい
- 課によって色は違うが、若手職員をよく気にかけてくれてとても温かい
- 若手職員が想像より多いため、分からぬことがあった場合に聞きやすい



## 設計課

おの ひろふみ

**小野 熙文**宮城県多賀城市出身  
岩手大卒

## 業務内容

積算や施工に関する調査依頼及びとりまとめ、工事成績評定の通知、積算基準改正等の通知等

## 学生へメッセージ

業務の中で様々な人と関わることができ、温かい人が多いため、とても充実した生活を送っています！



## 事業計画課

さかもと みな

**阪本 実菜**京都府京都市出身  
岩手大卒

## 業務内容

ダムや頭首工などの農業水利施設の新設・改修に係る予算関係資料のとりまとめ、工事の予定価格作成等

## 学生へメッセージ

先輩方から農業水利施設について教えてもらい、日々の学びから成長を実感しています！



## 水利整備課

なりた そうし

**成田 蒼士**青森県中泊町出身  
五所川原農高卒

## 業務内容

ほ場整備事業に関わる補助、「田んぼダム」推進活動、スマート農業推進事業等

## 学生へメッセージ

職場は温かい人たちばかり！また、県営補助を通して県庁や様々な機関の方と携わることもできます。

## 農地整備課

おかむら ゆうか

**岡村 裕加**鳥取県鳥取市出身  
北里大卒

## 農地整備課

はたけやま よしき

**畠山 良輝**秋田県北秋田市出身  
秋田北鷹高校卒

## 業務内容

多面的機能支払交付金に関する県への各種調査依頼、交付金関係の文書処理、会議資料作成等

## 学生へメッセージ

上司や先輩が優しく、出張も多いので自分を大きく成長させる学びの機会になっています！

05

**Q3**

入省して良かったこと・大変だったことは？

## 【良かったこと】

- ・福利厚生の充実
- ・周りの上司だけでなく、研修多いため組織的にもサポートが手厚い
- ・全国に知り合いを作れる

## 【大変だったこと】

- ・独自のシステムに慣れること
- ・多岐にわたる業務を覚えること

**Q4**

休みの日の過ごし方は？

- ・職場の先輩や同期、自分の友達と遊びに行く
- ・仙台市内外のグルメ巡りや観光
- ・お家でのんびりしながらテレビを見る
- ・旅行に行く

# 若手職員の声～入省1年目～

入省

入省後1年間のスケジュール（令和6年度入省者を参考）

4

5

6

7

8

9

年次休暇と  
合わせて連休OK  
休暇制度→P.28

ビジネスマナー  
から学べるよ！

- 農業水利基礎養成研修
- 基礎養成研修【1】
- 初任技術者研修【基礎】
- ゴールデンウィーク

- 基礎養成研修【2】
- 初のボーナス☆

全国の同期と一緒に、  
農業農村行政や農業農村工学の  
基礎を習得！

- 初任技術研修【水管理】

農業農村整備事業について  
現職で担当している人が  
直接伝授！

- （係員級）【第1回】  
情報連絡会議

お盆、  
夏休み

農家のお宅へ行き  
農業を体験！

東北農政局の係員が集まり、  
コミュニケーションをとれる  
貴重な機会！

- 初任技術研修【農村派遣】

10

11

12

1

2

3

- OJT中間報告会
- プレゼンテーション研修

- 技術士試験
- （係員級）【第2回】  
情報連絡会議

- 初任技術研修【実践】

自分のスキルアップのために  
受けける人が近年増加♪

- OJT成果発表会

OJTとは？  
→P.27

- 引継ぎの準備

2年目から  
国営事業所や  
調査管理事務所等に勤務し、  
基幹農業水利施設の  
更新事業等を担います！



## 入省2年目以降の 若手職員に聞いてみました！

設問1

設問2

設問3

東北農政局を選んだ理由を教えてください！

仕事の魅力ややりがいは？

入省を考えている後輩にメッセージをお願いします！



菊池 成美

入省6年目 宮城大卒

1 海外への技術貢献ができると聞き、選びました。就職先に悩んでいましたが、今まで大学で学んだことを活かせることに加え、人の力になることができるような職業をしたかったため、ぴったりだと思いました。



後藤 健太郎

入省4年目 弘前大卒

2 地元の方から感謝の言葉をいただいたときです。地元の方に喜んでいただけたような農業用排水施設を補修・改修するため、時には問題が発生することがあります、その課題を一つずつ乗り越えて工事が完成した際には、達成感とともに私自身が一つ成長したと感じます。

3 転勤があるため、マイナスなイメージを持つことがあるかもしれません、転勤先で美味しい食べ物を食べたり、観光スポットに行けたりと、プライベートの面で充実しやすいことが良さだと思いました！



平野 茉那

入省6年目 小牛田農高卒

1 国営事業の現場を見学した際、大きな機械、広範囲にわたる仮設、大規模な農業水利施設や予算など、「大規模」で「やりがい」「達成感」のある仕事に魅力を感じました。また、職員の方の説明が分かりやすく、その姿がかっこいい!と思い、自分の目指す将来像が見えたことも決め手でした。



附田 琴子

入省3年目 北里大卒



降幡 涼介

入省4年目 山形大卒

2 工事を行ったことで壊れていた施設がきれいに直っているのを見ると、仕事にやりがいを感じます。また、東北管内を数年おきに異動することになるので、行ったことのない地に住むことができるのも魅力の一つです。



佐藤 凌

入省2年目 秋田北鷹高卒

3 国の大規模な事業に携わり、日本の農業を支える一端を担えるやりがいの大きい仕事です。仕事内容や環境に不安もあると思いますが、インターンシップや業務説明会等、入省に係るサポートが充実しておりますので、興味があればぜひ検討してみてください。

1 東北農政局のインターンシップへの参加や、障がいの方とふれあうアルバイトの経験から、半農半Xや農福連携を通して、「どんな人も生きがいを見つけられる社会を、農業を通して創りたい」という想いを、生まれ育った東北で達成したいと考えたためです。



佐藤 愛笑

入省2年目 岩手大卒

2 市や県よりもスケールが大きく、国の仕事ならではの責任感を持って仕事ができます。普段何気なく見ていた水路などの農業水利施設が改修される過程を、自己の技術的支援・経験をもとに各種課題に対応しながら進めていくことは、とてもやりがいに感じます。



益田 達也

入省3年目 五所川原農高卒

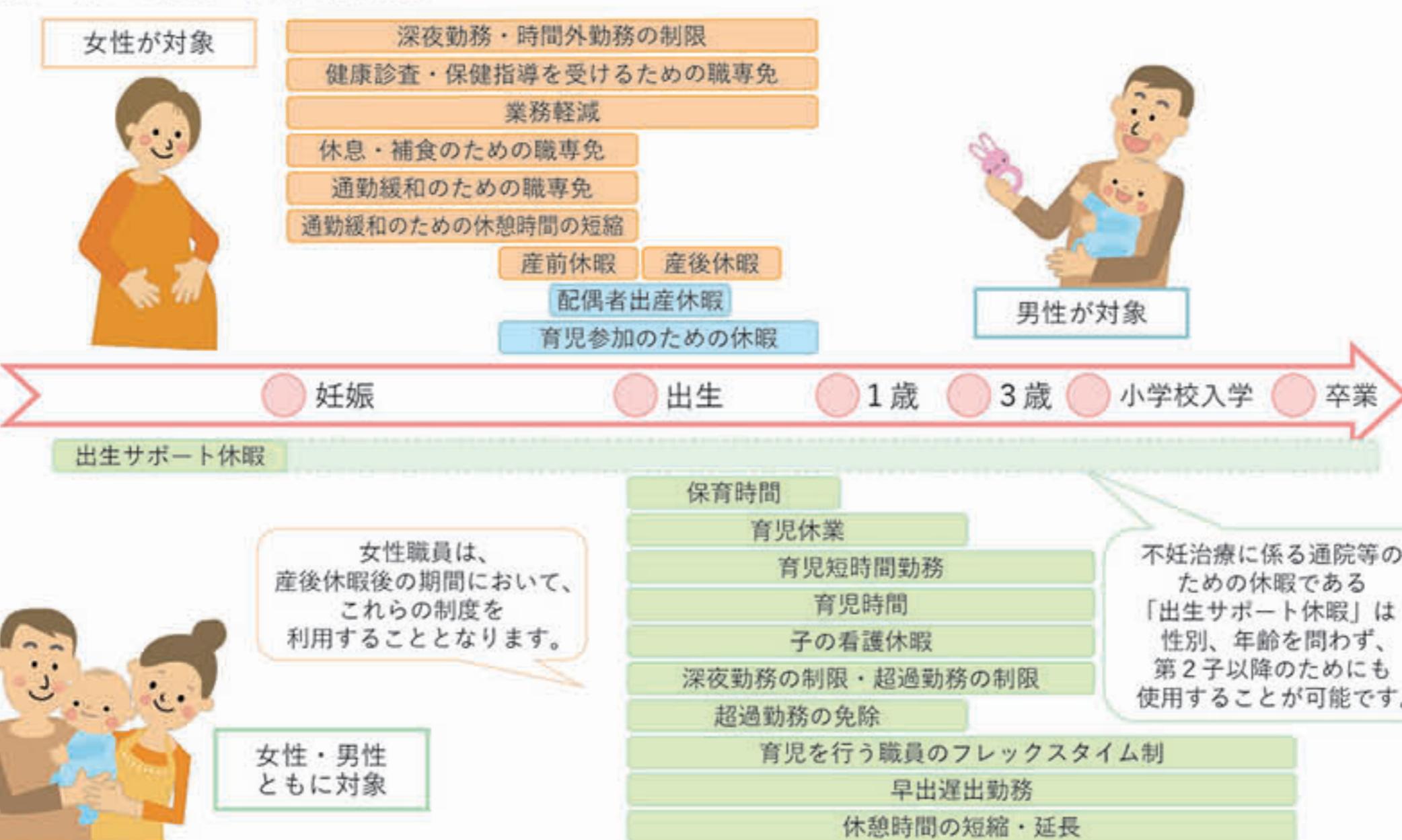
# ワークライフバランス／新しい働き方

## 両立支援制度

ワーク・ライフ・バランス（『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方）を実現するための様々な支援制度が用意されています。

### 【妊娠・出産・育児支援】

妊娠・出産・育児に関する制度の利用可能期間



06

### 【介護】

両立支援制度の概要（介護）

目的 介護	両立支援制度	制度の概要
◎ 介護休暇	要介護者の介護を行うための休暇（通算6月。3回まで分割可。）（異なる要介護状態になった場合には再取得可）	※詳細については、所属機関の人事担当にもご確認ください。
◎ 介護時間	要介護者の介護を行うための休暇（連続3年の間に1日2時間まで）（異なる要介護状態になった場合には再取得可）	
◎ 短期介護休暇	要介護者の介護を行うための休暇（年5日（要介護者が2人以上の場合は10日））	
◎ 介護を行う職員のフレックスタイム制	要介護者の介護を行うため、総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更すること	
◎ 早出遅出勤務	要介護者の介護を行うため、勤務時間帯を変更すること	
◎ 深夜勤務の制限	要介護者の介護を行うため、深夜に勤務しないこと	
◎ 超過勤務の免除	要介護者の介護を行うため、超過勤務しないこと	
◎ 超過勤務の制限	要介護者の介護を行うため、1月につき24時間、1年につき150時間を超えて超過勤務しないこと	
◎ 休憩時間の延長	要介護者の介護を行うため、休憩時間を延長すること（休憩時間の直前又は直後に在宅勤務を行うときに限る）	
◎ 休憩時間の短縮	要介護者の介護を行うため、休憩時間を短縮すること	

介護に関する制度のフローチャート



### 【その他】

配偶者同行休業：外国で勤務する配偶者と外国において生活を共にする休業（3年を超えない範囲内の期間）

自己啓発等休業：大学等における就学又は国際貢献活動のための休業（2年（就学）又は3年（国際貢献活動）を超えない範囲内の期間）

出展：人事院－妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援のページ－妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援ハンドブックより

※全ての国家公務員に適用される両立支援制度については、人事院のHP ([https://www.jinji.go.jp/ikuzi/ryouritsu\\_toppage.html](https://www.jinji.go.jp/ikuzi/ryouritsu_toppage.html)) をご覧ください。



東北農政局農村振興部事業計画課  
補助事業係長(H16入省)

後藤 史江

利用した制度：健康診査（妊婦検診）のための休暇、産前産後休暇、育児休業、  
育児時間、子の看護休暇、フレックスタイム制、早出遅出勤務

Q 結婚・出産による働きやすさはどうですか？

勤務地について結婚後から配慮していただいているが、育児休業からの復帰後は、特に勤務時間に関わる様々な制度に助けられています。

大人の勤務時間に合わせた生活で子供が体調を崩してしまったため、保育園入園後半年ほどは育児時間を、小学生になった現在はフレックスタイム制や早出遅出勤務を利用し、大人も子供も無理のない生活ができます。

Q 子育てと仕事を両立する中で、仕事をする際に心がけていることはありますか？

子供の体調によっては、突然かつ長期の休暇が必要となることがあるため、仕事は先送りせず、早め早めの対応を心がけています。しかしながら、子育てと仕事の両立は自分一人が頑張って何とかできるものではなく、家族や職場の理解と支えがあってこそものなので、周囲への感謝の気持ちを忘れないようにしています。



東北農政局農村振興部水利整備課  
国営第1係員(H30入省)

笹森 洋一

利用した制度：配偶者出産休暇、育児休業

Q 取得の概要是？

長男の出産前後数日と退院後から約1ヶ月、休暇を取得しました。妻の妊娠が分かった段階で上司に相談したところ、休暇が取得できるようすぐに調整が進み大変ありがとうございました(沢山の先輩方から実体験に基づくアドバイスを賜りました…！)。

男性職員対象の休暇制度は様々ありますが、庶務担当の方から取得可能な休暇について分かりやすく説明して頂き、計画的に休暇を取得することができました。

Q 制度を利用しての感想

初めての夜泣き(全然泣き止まない…泣)は大変でしたが、休暇中は私が夜間の世話をすることにして、妻とお互いまとまった睡眠時間を確保できたので良かったです。子供が生まれると病院や役所、買い物と色々やる事がありますが、休暇制度を利用し平日に用事を済ませることが出来て助かりました。

私自身、就職先を決める際は将来の家族の事まで考えておりませんでしたが、いざ家族ができると、充実した休暇制度は安心して働き続ける上でとてもありがとうございます。

## 新しい働き方制度

- コロナ禍により、IT技術を活用した新しい働き方が一気に普及しました。東北農政局でもテレワークやWeb会議は「当たり前」になりました。
- ICT技術を活用したリモート監督を積極的に導入し、業務の効率化に取り組んでいます。

### テレワーク

東北農政局では、誰でもテレワークを導入できる環境が整備されています。職場のPCを持ち帰り、自宅のインターネット環境から、職場と変わらない環境での業務が可能である上、通勤時間を削減できます。

感染症対策に加えて、ワークライフバランスの側面でもテレワークは有効です。テレワークを有効活用できるように、業務内容の見直しを実施しています。



### Web会議

事業の計画や評価など外部有識者からの意見聴取の会議のほか、全国会議や東北管内の関係者会議など、これまでには一堂に会して実施していた会議をWeb会議で開催しています。

### リモート監督

ウェアラブル端末を利用したリモート監督の取組も進められています。

実際の現場の状況をリアルタイムで確認できます。情報の共有や施工技術等の習得にも有効なツールとなっています。